

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 60代	甲状腺未分化癌 (高血圧)	24mg 35日間 ↓ 20mg 99日間 ↓ 14mg 122日間 ↓ 10mg 18日間	気胸 投与前  投与開始日 投与15日目  投与19日目 投与29日目  投与36日目  投与43日目 投与118日目 投与135日目 投与148日目  投与257日目 投与275日目 (投与終了日) 終了1日後	頸部腫脹と嚥下困難を主訴に近医を受診した。超音波検査で甲状腺左葉に腫瘤性病変を認め、当院へ紹介となった。細胞診で甲状腺未分化癌と診断。 多発肺転移あり(胸膜直下, 気管支周辺等)。ブラ・ブレブなし。 気胸の既往なし。 本剤24mg/日開始。 高血圧出現。オルメサルタン メドキシミル20mg追加。 蛋白尿発現(以後副作用により減量を実施していたが, 蛋白尿は死亡まで継続)。 高血圧は回復。 本剤投与1ヵ月後のCTで原発巣の縮小と肺転移の縮小・空洞化を認めた。 手足症候群を発現(手指・足底に軽度の疼痛あり)。本剤20mg/日へ減量。 手足症候群は回復。 肺転移巣の空洞化を認めた。 蛋白尿のため, 本剤14mg/日へ減量。 気胸出現。CTで右気胸を認め, 緊急入院となった。 胸腔ドレナージを行い気胸は速やかに改善, 投与158日目に退院したが, 投与162日目に再燃。 計4回の右気胸(投与148日目, 162日目, 204日目, 237日目)と1回の左気胸(投与240日目)を発症し治療を要した。 食欲不振, 嘔気のため本剤10mg/日へ減量。 本剤投与中止。 右難治性気胸治療中に耐性病変が出現し, 左癌性胸膜炎で死亡。死亡理由は, 本剤を14mg/日から10mg/日へ減量し病態をコントロール出来なかったことでの原病死。 気胸は未回復。
併用薬: アムロジピンベシル酸塩					

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 50代	甲状腺未分化癌 (高血圧)	24mg 57日間 ↓ 中止 ↓ 20mg 15日間	気胸 投与前	他施設より紹介。甲状腺未分化癌及び肺の多発転移を確認。肺全体に細かい転移が広がっており、部位・大きさの特定は困難。
				投与開始日	本剤24mg/日にて投与開始。
				投与54日目	呼吸苦・胸痛を理由に受診。肺気胸（左肺上部）を確認。胸腔ドレナージを実施。
				投与58日目 (投与中止日)	胸腔ドレナージを実施するも治りが悪く、念のため本剤休業。入院中は酸素マスク2～3L/minで対応。一時SpO <sub>2</sub> 90%になることもあったが、それ以上の悪化は無し。
				投与中止5日後	胸部外科にて胸膜癒着術を実施。
				投与中止8日後 (再投与開始日)	本剤20mg/日にて投与再開。
				再投与2日目	胸腔ドレーン抜去。肺気胸は軽快。
				再投与7日目	退院。
				再投与16日目 (再投与中止日)	呼吸苦の為、来院。本剤投与中止。胸部レントゲン撮影で右気胸と診断。胸腔ドレナージを実施し、右気胸は軽快。
	併用薬：アムロジピンベシル酸塩				